

地区支部だより vol.1

初夏の候、いかがお過ごしでしょうか？

！地区支部では、支部での活動を「地区支部だより」（電子BOOK）としてお届けしてまいります。

今年度の初号となる今回は、5月に開催した「看護協会 まちの保健室」の活動報告をいたします。

！地区支部長 江口 恭世

看護協会

まちの保健室 活動報告

！地区支部では、地域活動を通して地域住民の健康づくりや看護協会の認知度向上を図ることを目指しており、「看護協会 まちの保健室」は地域の方々と私たちを繋ぐ大事な行事です。

■ 5月19日(土) 「看護協会 まちの保健室」 in 看護フェスタ福岡 2025

内容は、高齢者体験、酔っ払い体験、健康相談の3ブースを設置しました。10代の来場者も多く、将来、看護師を目指す若い世代へ、看護協会や看護師の活動についても知っていただく機会となりました。



高齢者体験ブース



視覚・聴覚・触覚など加齢に伴う身体の変化を体験できました



酔っ払い体験ブース



アルコールの及ぼす影響について体験できました



健康相談ブース



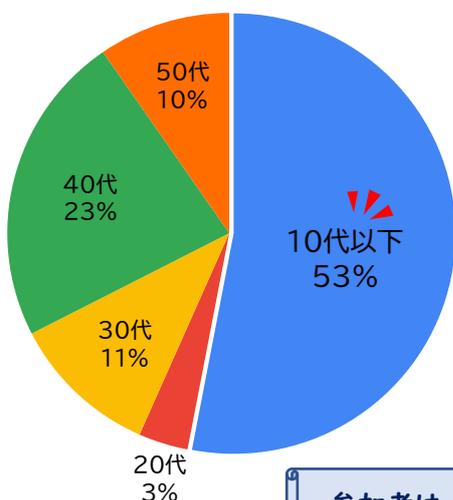
血圧測定
SpO2測定



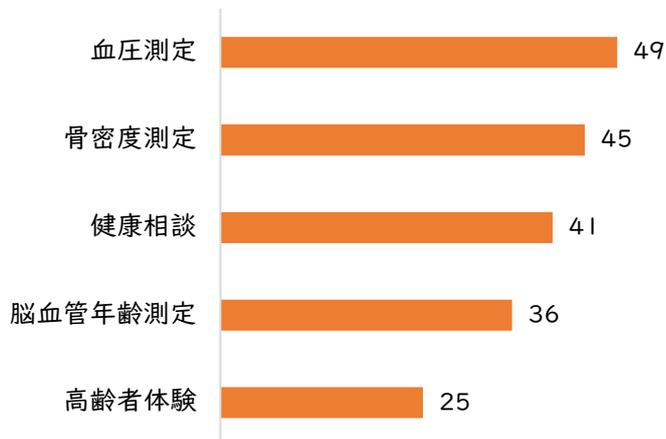
アンケート結果

来場者83名

● 回答者年代別の割合



● 今後期待すること（複数回答可）



参加者は、若い世代とその親世代が多かったです。

●自由記載（一部抜粋）

- ・初めての参加でしたが、楽しく学ぶことが出来ました!!
- ・将来看護師になりたい身として貴重な体験ができてよかったです。
- ・あまり看護に触れる機会が少なかったので、実際にいろいろなことを見たり聞いたりできて、すごく有意義な時間を過ごすことができました。
- ・普段体験できない酔っ払いや高齢者体験を通して、そのような人達との接し方を見直すべきだなと思った。
- ・色々な体験や知らなかった知識をたくさん学ぶことができた。
- ・高齢者のことが深く学べて、大切にしようと思った。

概ね好評でした。特に、高齢者体験に関心を持たれた方が多かったです。



応援スタッフとして参加して下さった方の感想

医療法人 貝塚病院 松田 早季さん

今回「まちの保健室」に参加し、健康相談・バイタルサイン測定を担当させて頂きました。対象者は、中高生や子ども連れの親子などが多く、他のブースで行っていた「酔っ払い体験」や「高齢者体験」を含めて、行列になるほど盛況でした。小さな子ども達が、「血压ってなに～?痛いのか?」と興味深そうに来てくれて、血压や酸素飽和度をはかると、「へーすごい!」と楽しそうにしていました。

特に印象に残っているのは、「看護師を目指しています!」「助産師になりたいてきました!」という学生さんとお話できたことです。キラキラとしたまなざしでお話してくれて、私もとても嬉しい気持ちになるとともに、初心を思い出し懐かしい気持ちになりました。

また、近隣の病院のスタッフの方々と交流することができ、貴重な経験となりました。機会があればまた参加したいです。ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました!

今年度、I地区支部が運営する

「看護協会 まちの保健室」の第2回目は11月の開催を予定しています。

詳細は、決まり次第お知らせいたしますのでぜひ、ご参加ください!!

今後とも、I地区支部の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

